設置方法

ご注意
電気配線・工事は第二種電気工事技師の免許が必要です。電気業者や専門業者にご相談ください。建造物へ設置工事が必要な場合は専門業者へご相談ください。

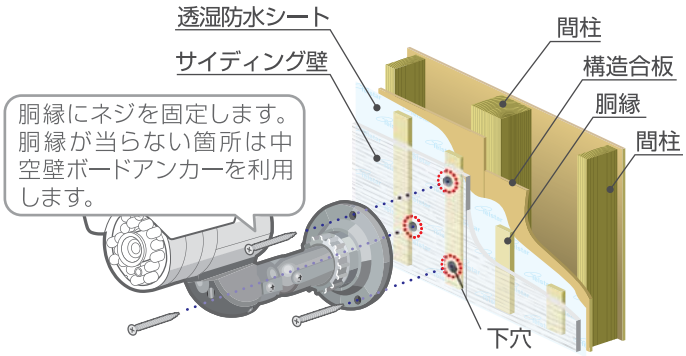
カメラ

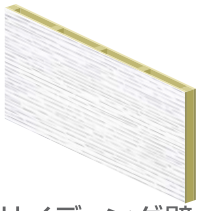
カメラを取り付ける際は、設置面の材質や構造を確認し、カメラの重量を考慮の上、適した部材を使用します。

壁面への取り付け

アンカー&ネジ
（付属品または市販品）

※コンクリートや鋼板に穴をあける場合は専用工具（ドリルビット、電動ドリルなど）を使用します。

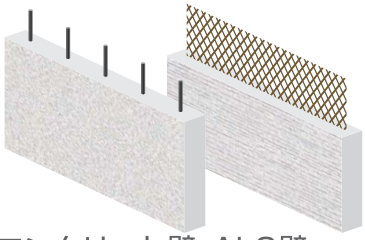




サイディング壁　トタン壁

軒天石膏ボード

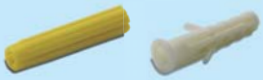
中空壁・石膏ボードアンカー



コンクリート壁　ALC壁

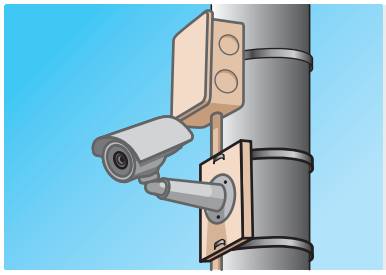
カーポートの支柱

コンクリートアンカー

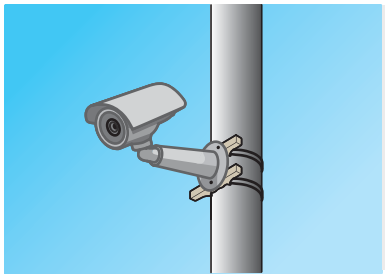


薄板用ネジ

ポールへの取り付け



ステンレスバンド&
取付自在板(市販)



ポールバンド(市販)

※ポールの直径を確認の上、部材をお選びください。詳しくは部材メーカーにお問い合わせください。

カメラのブラケット寸法は「寸法図一覧」参照

電源

■ 屋内に引き込む場合
ケーブル（映像＋電源）を屋内まで配線し、コンセントにACアダプターを接続します。

■ 屋外で電源をとる場合
同軸ケーブルで配線する場合はカメラの近くで電源を取ります。ACアダプターは防水仕様ではないため、電源ボックスを設置し雨よけをします。

屋内コンセント
コンセントにACアダプターを接続します。

屋外電源ボックス(市販)
ボックス内に屋外コンセントなどから電源を引き込み、ACアダプターを接続します。

屋外コンセント
ACアダプターは屋外コンセントに直接差し込めません。

写真・イラストはイメージです。

ケーブル

■ 配管配線(ケーブル保護材)

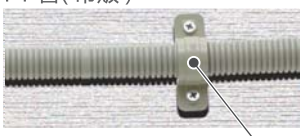
ケーブル保護材を使用した配線方法です。屋外で使用する場合は耐候性、耐熱性に優れた屋外仕様を選びます。

・**PF管**(内径Φ22以上 ※)+**PF管専用サドル**

・**モールダクト**(40型／1号以上 ※)

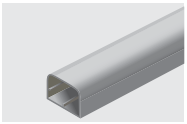
※ケーブルの寸法をよくご確認の上、部材をお選びください。

PF管(市販)



PF管専用サドル(市販)

モールダクト(市販)



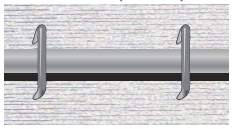
■ 露出配線

ケーブルを直接固定する方法です。風などで動かないように**ステップル**や**片サドル**、**結束バンド**などでしっかり固定※します。

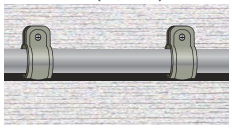
※ケーブルが変形するほど強く固定しないでください。

カメラのケーブル寸法は**「寸法図一覧」**参照

ステップル(市販)



片サドル(市販)



結束バンド(市販)

屋内への引き込み方法

■ スキマケーブルを使用

壁に穴を開けずに窓やドアの隙間から配線します。

■ エアコンダクトを二次利用

設置されているエアコンダクトを利用して配線します。

■ 入線カバー(穴あけ工事)

壁に穴をあける工事をおこない配線します。※

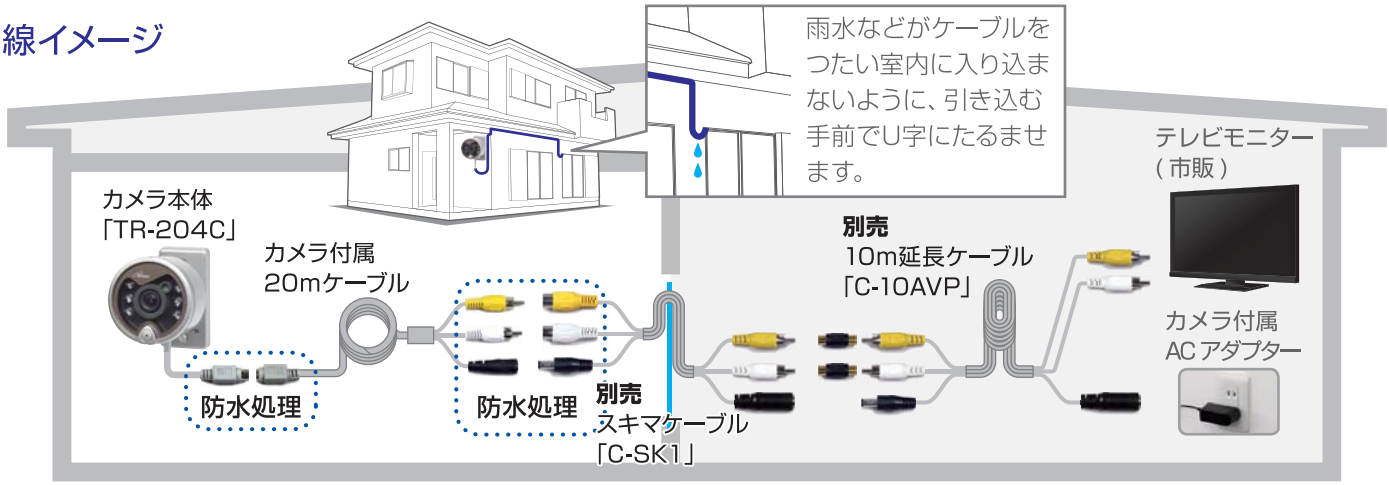
※専門知識が必要になります。工事については電気店・ホームセンターなどにご相談ください。

「C-SK1」スキマケーブル(別売)

エアコンダクト(市販)

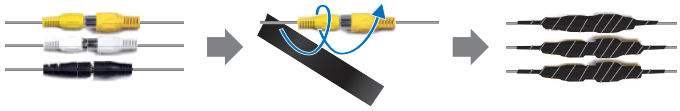
入線カバー(市販)

配線イメージ



「自己融着テープ」で防水処理

ケーブルのコネクター接続部が屋外になる場合、**自己融着テープ**(市販)で防水処理が必要です。※



処理前　1箇所づつ処理する　処理後

※腐食防止のため、必ず防水性能のある部材をご使用ください。詳しい使い方、仕様は部材メーカーの取扱説明書をご覧ください。

テレビにつないだら……

テレビのリモコンの**「入力切替」**ボタンを押して、**カメラの映像画面**に切り替えます。

※詳しい操作方法はお手持ちのテレビの取扱説明書をご覧ください。

※設置面の強度・ケーブルの重量を考慮の上、固定方法を十分に検討してください。定期的に点検・清掃などをおこなってください。詳しくはお近くの電気店、工務店、家電量販店、ホームセンターなどにご相談ください。

写真・イラストはイメージです。